

第 6 回

山口市本庁舎の整備に関する検討委員会

平成 2 8 年 1 1 月 2 5 日 (金)

山口市本庁舎の整備に関する検討委員会事務局

目 次

- 1 第5回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会について・・・・・・・・・・ 1

- 2 第5回検討委員会後、事務局に提出された意見書について・・・・・・・・ 1 2

- 3 新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について・・・・・・・・・・・・ 1 4

- 4 第7回検討委員会日程について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 1

1 第5回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会について

1. 日時

平成28年10月12日（水）午前10時～午後0時15分 防長苑

2. 概要

(1) 事務局からの説明事項

- ・新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について

(2) 委員からの意見等

	意見、事務局の回答（要約）
1	<p>・検討委員会の進め方について、44人の委員が自分はどうであるという本音を語り合う会を持っていただきたい。できれば1時間3つくらいのグループ分けをして、お互い本音を出し、それを基に答申を出していただいたら、納得ができる。次回はぜひ、グループ分けにして、全員が自分の思いを自分の本音を語りあえる、というような審議会にしていきたい。</p> <p>【会長】 私もこの44名で、どうやってまとめるか、なかなか難しいと思っている。でも、せっかく来ていただいた市民の委員の皆さまからはぜひ一言ずつでも発言をいただこうと今回考えているし、早急に今回やって、次回やって、はいそれまで、という形にもしたくないので、委員の皆さんが納得される形で最終的には結論を出したいと思っている。会議の進め方についてはもう少し検討させていただきたい。</p>
2	<p>・亀山公園ふれあい広場が1番最適なのではないかと思っている。徳地からは30分かかかる。小郡になると50分かかかる。</p> <p>・小郡にしても新幹線で市役所に行く人はいない。人口的な重心がどこであるかと考えた場合、現在の市役所の隣が最適ではないかと思っている。</p>
3	<p>・候補地の綱引きとなっており、本来の答申内容を作りあげるとい話し合いからはちょっとずれてしまった感じを持っている。</p> <p>・候補地については、南部地域、北部地域という色分けをした場合、例えば北部地域から現在の機能を持った市庁舎が出て行った場合の影響が非常に大きいのではないかと考えている。</p> <p>・山口市の将来計画を色んな観点から聞いた。その中でバランスのとれた発展、人口が減少する中にありながらも、そういったバランスということも非常に大事なんじゃないかと思っている。そうした観点から、ぜひ出ていった場合の影響の大きさと、バランスといった点からも講評をいただきたい。</p>
4	<p>・5段階に分けて点数化をして、それぞれの候補地の評価をした。その結果、私個人としては、現在地建替えというのが良いのではないかという結果になった。</p> <p>・他の候補地が現在地に優る大きな理由があれば、それについて真剣に考えなければいけないが、いまの段階ではそういったものが見当たらない。現在地とした場合、何か特に大きい問</p>

	<p>題があるか、欠陥があるかということも考えたが、色々あるが、解決できる範囲内ではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の人の意見でこの集約が進められないように一つお願いをしたい。議論を聞いていると、地域から出た委員については、やはり地域エゴというか、我田引水のような感じを受けたので、そういった事を除いて集約ができればと考えている。 ・意見の集約についての提案として、出来るだけ項目をたくさん設け、項目ごとの点数を各委員の方が出し、再度この委員会で審議することはどうかと思っている。方法は会長、副会長一任ということで、できるだけ多くの委員のご意見が反映するようお願いしたい。 <p>【会長】</p> <p>市民委員の方は、後ろに背負っておられるものがあると思う。ただ、この委員会で最初に言ったように、個人的に色々相談されることは構わないが、この44人の個人の意見としてここでまとめればよいと考えている。</p> <p>候補地については今回、検討のための客観的な指標が出された。指標をもとに、まず我々が候補地ごとに、これは○とか△とか◎により評価を行い、それを委員の皆さんにお示し、御意見を伺いながら、まとめればよいと考えている。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山公園ふれあい広場に新庁舎を建設する案に賛成。山口地区は従来から行政、歴史、文化、教育の中心であり、また、湯田温泉を中心とする観光エリアである。更に、県庁や国の機関も近くにあり、現状においてわざわざ遠くに行く必要はないと考えている。 ・山口市のまちづくり計画においても、山口地域の位置づけ、小郡地域の位置づけ、が明記されている。総じて、山口地域は行政、教育、文化、商業、温泉事業の活用が明記され、山口都市核づくりが進められている。また、小郡地域は産業交流、広域交通をメインとして、小郡都市核づくりが進められている。羨ましい限りの税金が投入されていると認識している。 ・こうした状況を考えれば、山口地域と小郡地域の役割分担や将来像も出てきていると考えている。 ・新幹線は市庁舎の位置決定に関する限りでは、山口市民に直接、影響するとは思えない。 ・小郡地域を市民、県民の玄関口として位置づけをして、発展されることは必要だと思うので、山口線やバス路線の充実、9号線を中心とする道路網の整備拡充をさらに推進し、利便性を高めるのが、必要だと思っている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・大殿・白石・湯田には地域交流センターに出張所機能がない。戸籍や住民票など一般市民が利用する行政サービスがこの3地区にはない。3地区の人口は約3万1千人。現在の山口市の人口の約15.7%の住民がこういったサービスに関して、本庁に行かないとできないということを考慮してほしい。公平性・平等性を言うならば、総合支所や地域交流センターを強化し、3地区にもそういった機能を持った交流センターを造ってほしい。 ・交通の便が新庁舎の位置を決定するのに必要だという話が出ているが、本来、歴史的に考える必要があるのではと思う。600年前に大内氏が山口市に、山口県そして九州、中国地方を治めた。そうした街づくりをしてきた背景があり、毛利氏が明治維新のときに山口に藩を持

	<p>ってきたという経緯も、インフラとか行政の都市機能が山口に出来ていると判断されたからではないかと思う。大内氏が造った都市機能の基盤が山口市にあったということ、それを考え、新たに全くそういったものがないところに持っていきのいいのかが、現状で、国とか県など行政の機能等インフラが山口市の中心になっていることを考えたとき、恐らく新たなところに造れば、その機能が充実するまで 100 年くらいかかるのではないかと考え、新本庁舎は、今のところか亀山公園の辺りが良いのではと思う。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規模的なもの、予算的なものについて、果たしてその規模で賄えるのか、どうなのかなという気はする。それと、50 年後、規模的に間に合うのか間に合わないのか、逆にスペースが空いてしまうという問題が出てくる。 ・ ハザードマップがどうしても山口、小郡というのは走っているので、これはいかなる事態が起きてもおかしくない。津波は、小郡は浸水するけど、山口はある程度助かる見込みがある。我々は、将来的なことを考えなければいけない。後世に残る者がどう使うのか、どういう場所が 1 番いいのか、やはりあそこに建てて良かったなというものを我々は考えなくてはいけない。 ・ 市民会館等、そういったものを今後考えざるを得ないので、やはり庁舎は現在地が一番望ましいし、将来的なことを考えてご検討を願いたい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山公園ふれあい広場が最適ではないかと思う。理由として、第 1 に県庁、県警本部、国の合同庁舎、裁判所等、県・国の行政機関や施設が集中し、利便性が高いこと。次に、大殿・白石・湯田地域とその周辺の宮野・大歳・平川・吉敷地区の人口は山口市で全人口の 60% に当たる 12 万人、これだけの人口が集中している。そして、その中心部の人口は、現時点ではまだ増えている状況がある。交通面は、距離的、地理的な面で言うと、北部の阿東・徳地地域、南部の阿知須・秋穂地域等から、ほぼ中間的な位置にあり利用しやすい。高速道路の湯田 PA から出入りできるスマート IC が近々完成する。県内外各地からでも交通アクセスの利便性が高い。同時に国道 9 号線や山口宇部道路で宇部・益田方面へどこも連絡ができ、国道 262 号線や 434 号線で防府市や萩、美祢方面への東西の道路もある。これは、防災時のバイパスとしても利用でき、大変便利である。災害対策として、安全面からも津波や高潮の心配がまずない。土砂災害の危険性も少なく、浸水対策もハザードマップで 50 センチ未満と想定されており、これは庁舎建設後も対応ができて、安全が確保できるのではと思っている。地震については建物の構造上、耐震のほうを強化してもらいたい。最後に、全国的にも知れた湯田温泉の宿泊客や学校関係、あるいは明治維新 150 年を利用したイベント等に参加する人たちが集まる地域でもあり、そういう面でも本庁舎が近くにあったほうが便利である。以上の理由から、亀山公園ふれあい広場のほうへ建て替えるのが適当ではないかと思う。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の資料をもとに候補地のポイント制という仕方で判断していけばいいのかなと思う。 ・ 提示されている候補地、これは第 4 回目の資料の中で示されているが、①から⑥まで、この計画が、土地がいかになくて土地のないところには建設ができない。 ・ 小郡の支所の職員駐車場に建てる件は準工業地域という用途地域で、いかにして建物を建てるのが可能なのかは理解していない。小郡総合支所は第一種住居地域である。これをどう

	<p>クリアされるかというのは議論しておかなければ、絵に描いた計画を提案するようになってしまうのではと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補エリアとして、一応出された小郡の北地区、周辺地域。問題は周辺の部分で、嘉川とか下郷の土地は民有地であり、かつ用途地域の指定のない地域である。これは大変な地域であり、用途変更、議会承認を経て等とすればかなりの年数を有してしまう。新山口駅前は、3か所のエリアを持っていると言っておられる。どのエリアを考えていかないといけないのかわからないのが不透明であれば、選択肢としては難しい。特に一部は既に計画が策定中だという説明も聞いている。これらを見ると、この候補地の中で唯一、公平的に見た視点でお勧めできるのは、亀山公園ふれあい広場である。将来、この建物を建てるのが8年かかると当初言われていた。これクリアするとすれば、亀山公園ふれあい広場であれば大丈夫かなと考えている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、現在、未来とも市民目線でのまちづくりの視点で考えるべきではないかと思う。そこで、全市民の安心、安全にどう関わるのか。全市民の利便性を全市民が実際に捉えられているのかどうかが大変。 ・利便性という点、地方自治法の第4条2項に、事務所の位置を定め、またこれを変更するには、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない、とある。そうすると、ちょっと実際的には、南部では合わないことがあるのではないかと思うが、私はその結論としているわけではない。 ・全市の人口の割合というのが、平成27年度は、北部が人口で13万7,350人、南部が6万人ということで、北部が69.5%、南部が30.5%である。それから、人口別で色々と資料で20年、30年、35年と出ているが、これは地域によって色々と内容的には変化しつつあるのではないかと。山口市の人口長期ビジョンとの関係では、山口都市核、小郡都市核、両方を中心に計画が進めている。この新山口駅周辺の開発を随分と進められていることが分かると思う。それから、実際に山口市がどういうふうに変わっていくかということについて予測するのは、難しい。自然に変わることもあるだろうし、人的に変えていくところもあると思う。 ・お願いとして、一部の人の意向に偏らない、全市民に恩恵が及ぶ、そういう議論を進めてほしいと私自身は思っている。 ・新山口周辺という附帯決議の説明によると、新山口駅周辺も一つの対象にするということで、決着したということじゃなかったのかということについて、市に回答をお願いしたいと思う。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・県都の拠点ともなるだろうし、庁舎の建築ということで、巨大な巨費を投じるため、人口とか、求心力のある都市形成ということで考えなくてはいけない。 ・南部地区のほうでも、附帯決議云々の話は南部だけでもなかなか意見が統一できないというのが実情だと思う。 ・ハザードマップなどを見ても、小郡地区ではちょっと無理そうかなという感じがするし、山口都市核づくり、小郡都市核づくりということを考えても、小郡のほうではなく、旧山口市、今の亀山のほうが市政の発展だけではなくて、洪水の面でも、土砂の災害の面でも良いかなと私自身は思っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁とか、国の出先機関などもあり、打ち合わせ等でも便利であろうかと思っている。 ・ 合併があつて総合支所ができたが、あれは南部でも距離的にも近いということで、例えば小郡なら小郡に総合支所、秋穂とか、阿知須とかそういうのはまとめてコンパクトにすることにすれば、もっと有効的にできるのではないかなと思う。
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支所や地域交流センターの機能がしっかりしていれば、本庁はどこでも良いのではないか。そう考えると、今までのまちづくりの継続性や県庁や国などの行政機関が集約され、防災の面でも安全な、亀山公園ふれあい広場が適地ではないかと考えている。 <p>(委員欠席のため事務局から発表)</p>
	<p>【事務局】</p> <p>委員からございました小郡総合支所に建てられるかどうかということですが、第3回の検討委員会の資料のA3の資料に、小郡総合支所、それからその前の職員駐車場の位置に関して、資料を提供させていただいていますが、基本的にはまず、この中の実際に小郡総合支所で、特記事項のところに用途地域の変更が必要になるとお示しさせていただいています。基本的には、小郡総合支所それから職員駐車場のほうにどういった建物を建てるかというのが、前のページに③-1は約7階建ての建物、③-2は10階建ての建物程度というような試算をしています。</p> <p>それから、附帯決議については、全体を捉えながら書いてある形で、この度はそれらも踏まえまして、最初の3回目のときには小郡総合支所を一つの候補地という形で出させていただいております。また皆さんからご意見がありました候補エリアについても追加という形でご提示をさせていただいたところです。</p>
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物を設計するにあたって、敷地が決まらないときは、役割、機能、規模が議論しにくい。議論の中で、適地という言葉は何度も使っているが、その適地というのはどういう評価をして適地なのか、客観的に評価して、皆さんの同意を得て、適地を選ぶということをやっているかといけないと思う。 ・ 行政サービスは公平性が原則なので、人口重心は、どこの市町村でも検討する指標の一つになる。現在の人口重心は平成22年の国勢調査の結果、山口大学吉田キャンパス辺りである。地方自治法第4条第2項からも、公平性が不可欠ということが言えると思う。その点で人口重心を一つ指標に持つてくるということは重要ではないか。 ・ 新山口駅の利便性が高いので、公平性が確保されるという考え方もできるという意見もあると思うが、人口重心を踏まえ、庁舎までの移動人口×移動距離の総和を出すと、新山口駅に本庁舎があるほうが、相対的には市民の負担が高くなるということになる。簡単に言うと、人口重心を考えないと多くの人長い距離を移動しないといけないということになる。つまり、多くの人時間とコストがかかるということになり、それを許容することができるのか、できないのかということも議論する必要があるのかと思う。 ・ 新山口駅の利便性というのは、主に市外からの来街者や事業者といった視点で見ると便利だと思うが、市内居住者全体の利便性を考えた時にどうなのかということをしっかり議論していかないといけない。山口市庁舎を造るわけだから、別の市のことを考えるよりまず山口市民にいかに便利なのか、いかに利便性が高いのか、使いやすいのかということ考えた上で

議論していく必要があると思う。

- ・新山口駅周辺はハザードマップにより、浸水想定区域等に指定されている。市街地の浸水想定区域になっている所は全国的に多く、浸水想定区域だから駄目だということにはならないかもしれないが、新しく造るとき、そういう所をわざわざ選ぶかということも、検討する必要がある。
- ・山口市は数年前まで、全国で唯一、線引きをしてない県庁所在都市だった。線引きというのは、市街化区域と市街化調整区域を1本の線で分けて、開発できるところと、できないところを分ける制度で、県庁所在都市で唯一山口市がやっていなかった。近年、高松市が線引きを外したため、高松市は市街地が外に広がっていった。山口市の土地利用を考えた上で、今回、新山口駅の近くの候補地の中に、農用地指定されている農地が選定されている。農用地指定されている場合、原則農地転用不可である。そういったスプロールを助長してきた山口市の中で敢えてまた農地を潰して宅地化する、もしくはスプロールを助長させるというような事を許容していいのかどうかということは、土地利用の観点からいくと少し問題があるのではないかと思う。
- ・両都市核のまちづくり方針から見た評価を考えると、まちづくり方針というものは、行政計画として市民合意が得られたものであり、これに基づかないことは、一回合意したものを破棄して、もう一回合意させないといけない。
- ・資料2に山口市のまちづくり計画が出ているが、要は市役所を動かすと、どうなるのかと。これを全部改定する心構えがあるのか、ということを上げたい。
- ・山口市都市核を考えた際に、現本庁舎を中心に行政、商業、観光、歴史、文化施設、居住、こういったものがコンパクトに集まっている。国の都市再生特別措置法でコンパクトなまちづくりを地方レベルでも推進していくということが言われていて、山口市も立地適正化計画を策定中だと聞いているが、山口都市核のコンパクトな生活圏というのをリスペクトして、モデル的にこれを考えていくということも、案としてあるのではと思う。
- ・現本庁舎は、大内文化特定地域と中心市街地活性化基本計画の中間に位置している。この2つの計画も、合意形成を果たして、皆が今まちづくりを進めているところ。その中心に、現庁舎がある。それがなくなる時に、その合意を果たした2つの計画は果たしてどうなっていくのかということは、非常に影響が大きいのではないかと思う。当然これを千人規模のいわゆる発注者側の事業所がなくなることに對しても、影響としては商業、事業所活動、経済全般にあると思う。これの代替案をまた合意の上で改定していくということの、今からのプログラムが、行政を含めて市民合意を果たすまで、非常に時間がかかるし、考えていかないといけないということを考えれば、山口都市核の影響というのは非常に大きなものだと考える。
- ・山口都市核について現在、コンパクトな都市構造というポテンシャルを持っているので、それを壊す必要もないのかなというふうに私個人的に思う。コンパクトな都市構造をそのまま住民レベルの活動で、歴史、文化、そういうものを活かしながら、まちを再生していくことに庁舎の位置づけというのはなくてはならないというふうに思う。
- ・小郡地区は足し算の計画。駅を造って、南北自由通路を造って、駅前広場を造って、将来を造っていく計画。山口都市核のほうから庁舎を引き算してしまうと、なかなか難しい。人口

	<p>増加時代は造れ、造れ、だったので、意外と足し算の計画がつくりやすいが、人口減少社会に入って、初めて人口減少下の計画を作らないといけない時代になった。これは皆、経験してないので分からない。即ち、引き算をどんどんしていかないといけない。その計画っていうのはなかなか皆、経験がないので非常に難しい。そういったことも考えると、足し算の計画策定はいま動いているが、なかなか引き算の計画というのは難しいので、その辺は要注意点と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域連携について、これは、ほとんど内容は決まっていないと理解しているが、宇部と強固な結びつきを行う、防府と萩、そういった所とやると書いている、実際、宇部、防府は庁舎を造ろうとし、基本計画を作っている。それも、現地、もしくは現地のすぐ近くということで、庁舎を計画している。その中に、広域連携の話というのは、私の知る限りほとんど出てこない。それが山口市の庁舎を計画するとき、かなり広域まで巻き込んで市庁舎を造るというロジックは、市民にとって分かりにくいと思う。一番市民に近い庁舎であり、やはり山口市民が分かりやすい、使いやすい、そういった形の市庁舎を考えていくべきではないかと思う。広域連携は、将来的な話として色んな連携の方策が考えられる、そういった位置づけになろうかと思う。 ・ そういった観点から、客観的なアプローチを行うと熟度が増すのではと思う。
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山口市に考えられる自然災害は、基本的には地震、津波、高潮、浸水、土砂災害ということになる。まず、地震は避けようがないから、庁舎の機能、耐震で最低限、免震等を含めた機能強化という形で乗り切るしかないと思っている。 ・ 浸水については、全国、浸水地ばかりである。昨年の茨城県常総市のように、市役所が浸水することによって、機能が停止する。なぜかと言うと、浸水することによって、通信インフラが生きていたとしても、職員の参集、移動、あるいは他との連携ができない。つまり、市役所の職員は庁舎に閉じ込められた状態である。人口重心の関係から、やむを得ずそこに建てる場合は、例えば1階のフリースペース、あるいは市民向けの多目的スペースとし、最悪、浸水しても書類やデータの損失、災害対応に関する市役所外の機能は損失しないという構造に工夫している地域もある。ただその場合は当然市役所の規模は大きくなる。1階は基本的にはもう浸水していいという前提ですから、備蓄等も当然、上にあげることになるし、災害対策本部も上にあげることになり、今の考えている規模に多分ならない可能性が出てくると思う。 ・ やむを得ない所はそれで乗り切るが、新しくこれから建てるところに、というところがキーポイントであり、できればそういった要素が、完全にゼロということはないと思うが、できるだけないほうが良いと思う。 ・ 浸水について、国土交通省が今回水防法を改定した関係で、一級河川について、山口市にはなく佐波川、防府市になるが、1000年に1度の大雨の浸水想定区域図を公開に踏み切った。他の全国の地域、最大で20メートルまで凡例がある。津波規模の浸水という地域も日本の中にある。ただし、山口市に流れている榎野川は、県河川であり、今すぐそういう想定にはならないとは思うが、国がこのような強靱化という方向にシフトしてきているので、場合によ

	<p>ると県河川も、想定を挙げてくる可能性があり、今時点で浸かっている所より想定が厳しくなる可能性はある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震による揺れで気になるのは、液状化、地盤の弱さがある。川の近くの沖積平野は地盤が弱いということになり、建ててはいけない、ということではなくて、そこに建てることに関しては地盤の改良、液状化対策ということにも費用面をかなりかけないと、豊洲の二の舞になると思っている。 ・こうしたことを総合的に判断し、防災安全面の話をし、建ててはいけないと言っているわけではなくて、建てるにはそれなりのお金と職員の動きを、覚悟を持って市民が受け入れ、山口市民みなさんが受け入れていただく必要があると思う。 ・防災拠点としてどうかというところがある。まず県庁が近くにあるということと、自衛隊が近くにあるということがある。今、本庁がある地域は、近くに自衛隊がおられる。これは災害対応していただくと。災害対応面でソフトの面になるが、そういった面での有利さは、今あると思う。いろんな通信インフラ、インターネット等含めた防災情報システムがでており、それである程度補完できるが、人員の移動、派遣となると、小郡地区にあると若干距離が離れる。これも山口市民の方が、それで良いとおっしゃるなら、それで構わないと私は思う。 ・私は条件を伝えているので、それで受容していただけるならば、私自身、どこが良いということは、この場では申し上げるつもりはない。あくまでも、自然の環境と、災害対応、そういった面での意見を申した。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・この度、今まで6か所程度の候補地があがっている。そうした場合はどうしても抽象的になって、なかなか難しい。この度の委員会の中では、現在の庁舎周辺と、小郡地区となっている。そうすると、今後2か所に絞って、メリット、デメリットの評価をきちんと表示して、それで意見を集約して進めていかないと、決まらないのではないかと思っている。今日の意見を集約して、事務局が意見をまとめて、次回に諮るとするのがいいのではと思う。 ・市の総合計画に対してどうなのかという項目と、もう一点、今から建てるそし、4~5年、場合によっては6年くらいかかると思う。それに今から民有地を求めるということは、とてもじゃないけど、また同じくらいかかる可能性があるので公有地に対して優先権を与えるような評価項目もいるのでは。絞った候補について、数値化しての評価や丸付けして、決める場合もあるが、そういうところが大切なのかなと思う。 ・今の市庁舎の周りには行政が集中しているし、最近の人口減少の中でコンパクトシティも利に適っていると思う。災害時については、熊本地震や東日本大震災のときも、最初に駆けつけたのが自衛隊、基礎自治体である山口市と消防、県庁、県警察、病院、ボランティア団体、そういう団体がどういう所にあって、やはり緊急時に対してどういうふうに対応されるかが非常に重要ではないかと思う。市民委員さんが仰っていたように、そういうことを市民目線で決める、要するに地域の方々が背中に持っているものは大変尊重しなかなければいけないと思う。附帯決議も、含めて最終的には了解を市民の目線で決めていくような方法を委員の皆さんで決めるのが良いのではないかとと思う。 ・建物を分割して造るとか、集中して造るとかについては、一般的には、分割して造れば造る

	<p>ほど、建設費もランニングコストも、基本的にはかかる。</p>
	<p>【会長】</p> <p>皆さんの考えを聞くと、24ページの指標で表を作って、それで全体を評価しようということに関しては、合意が得られたのではないかということと思う。</p> <p>どう集約していくかは、副会長と事務局で、後で相談させていただき、例えば、○と△、◎みたいな感じで点をつけ、何でそれが◎なのかということ、(次回)私が説明し、委員からそれはおかしいという所があれば修正し、最終的にそれで○が何点とか決めれば、多分順位がつくと思うので、そういう形でまとめられればいいと思う。そこは皆さんも納得いただけるのかなと思う。指標に関しては、今後も初めて考えられた方もおられると思うので、専門家の意見、人口重心であるとか、色んな考え方があったが、そこはしっかり議論させていただき、そういう形で出していきたいと思っている。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> ・人口重心の話が出た。長い距離の移動の話が出たが、山口にしても小郡にしても、かなり移動距離がある。そういうことで関連して、総合支所の機能強化ということ、24ページの表のどこかにもぐりこませていただいたらと思う。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の先生のお話があった。その内容について私が一番感じたのが、プラス思考の小郡、そして山口ということで、私は小郡の地区の出身ですので、大変良いお話であったと思う。 ・小郡地区の住民として、附帯決議のことについて、これを無視することはできない。 ・附帯決議について、11年前の県央合併の最大の合併条件であり、小郡町民にとっては最大の問題点だった。10年経ってこういう問題が出たときに、黙って看過をすべきではない。 ・合併して10年経ち、二次の合併があり、もっと新山口駅に建設をするという条件は増しているのではと思う。 ・本日の意見は100%市役所は亀山周辺、あるいは現在地だという意見だったが、亀山周辺というのは、合併の際、市議会で老朽化した市役所をシンボル公園化して、行政機能を亀山公園に設置をしたらどうだろうか、移転させるべきではないかと、合併直前の市執行部の意見として提案をされたことがある。これは住民に対してどうなのかなと。理解できない問題ではなかったのかと思う。 ・亀山公園付近というのは、都市公園であり、都市公園の中に市役所を建設するというのが、市民に認知されているだろうか。景観を壊すということで、反対運動というのが起きていると聞いている。 ・新山口、亀山、旧市の中の問題点も含めて、山口、小郡のどちらに設置をしたら良いのか、都市工学的に、学術的に、傾聴する場を作っていただきたい。 ・新山口周辺が良い理由としては、新山口周辺は、発展的ポテンシャルが大変大きい。そして交通の要衝であり、小郡都市核の都市機能の集積があり、人口が増加をしている。 ・山口県、山口市の玄関口として、最後に残された開発できる土地がある。そういう意味で、新山口市を造る最後のチャンスであると考えている。 ・広域圏域の拠点、あるいは連携中枢都市圏域の形成、将来的には、県民会館、文化会館、県物産館、高等教育の場、医療の施設が集積できる可能性がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎と総合支所、地域交流センター、この3つを関連出来るように、この総合支所と、旧山口市内にはもっと細かに総合支所を新しく造るということ。そして地域交流センターも含めて、しっかりした施設を造っていくということも含めて検討していただきたい。 ・本庁舎の機能はそんなに大きいものでなくていい。コンパクトに造っていただきたい。 ・総合支所、地域交流センターをもっと行政サービスに対して、サービス運営ができるような権限と財源も含めて造っていただきたい。
	<p>【会長】</p> <p>附帯決議の中には、「新山口駅周辺が適地であるという意見を踏まえ」この適地とは何かということで、どういう評価指標があるかというのを皆さんと議論して、事務局の案でこういう指標がありますよという話をした。適地というのは何かというのは、工学的、防災、建築の面から、話があり、それはすなわちこの附帯決議の中にある適地というのを我々がどう考えるかということで、総合的に、最終的に判断をしたいというふうに同意ができたものと思っている。</p> <p>それと、候補地が新たに追加されたが、私有地をこの中で検討していくというのは難しいというのを実感している。それで、候補地の検討で、小郡と旧山口市の評価の表を作ったらという話もあり、それは検討させていただくが、私有地はそういう問題があり、あと5年や6年くらいこの後にかかるし、市のプランとバッティングしているところが多々あるので、公有地の案で、先ほどの評価資料を出させていただくということでもよろしいだろうか。土地を持たれている方にすごい影響を与えることになるので、事務局の原案の候補地に戻して、次回評価のテーブルをつくらせていただきたいと思うがよろしいだろうか。</p> <p>(委員から異議なし)</p> <p>庁舎の機能は、新しく建てるということで、集約したほうが当然わざわざ別々に置いておくよりも良いだろうということで、庁舎の機能的には事務局の案に沿って答申案を作らせていただくということで進めさせていただきたいと思いますが、よろしいだろうか。</p> <p>(委員から異議なし)</p>
18	<ul style="list-style-type: none"> ・私は新山口駅付近でないといけないという考えを持っているが、次回そういった発言をさせていただく機会、時間を設定させていただきたいと思う。それから24ページの評価の表に将来性というのを入れていただきたいと思う。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・色々指標が出た中で、将来の人口の資料をいただいたが、市民レベルの全体でという話の中で、市民の中でも年齢層があるので、人口の重心とか、色んなバランスを、できれば世代別の人口分布とか、将来性を考えるのであれば、今の現状の中で年齢層が、これくらいならこういう人口分布、これくらいならこれです、というような感じの、将来展望も考えられるような資料がいただきたい。その中で話しをしていただければ、我々の将来によって、こういう人口分布になるんだなというようなことも考える、検討が出来ると思う。

【決定事項】

- 民有地である候補エリアは、取得に時間を要する、所有者の土地活用の計画に妨げになる可能性がある等の理由により、新本庁舎の候補地の検討から除外する。

- 会長、副会長、専門委員などで、当初の公有地の候補地ごとに客観的な視点に基づき評価を行い、その結果を次回会議で示し、検討する。

- 新本庁舎の役割、機能、規模等について、事務局案をもとに答申案を検討する。

2 第5回検討委員会後、事務局に提出された意見書について

意見（要約）	
1	<p>【今後の検討委員会の進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回検討委員会ではこれまで発言をされなかった市民委員10名と専門的な立場から3名が発言され、それなりに評価している。 ・しかし、まだ業界代表で発言されていない方もおられ、またこれまで発言された中にも私を含め言い足りない方もおられると思い、まだ3回も4回も必要と思う。 ・答申は急ぐべきではない。全員が自分の考えを述べてから答申作成に入っても決して遅くはない。徹底審議をお願いしたい。 <p>【検討の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来性（発展性）の視点 <ul style="list-style-type: none"> ●市外、県外の人をたくさん呼び込むことができるか ●企業を誘致し、移住を促進するための条件はそろっているか（交通の便、広い土地、生活環境） <p>【視点の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、委員全員が評価し、その評価をもとに会長、副会長が自分の評価も加えて案を提出し、それらをもとに最終答申がなされるべきと思う。 <p>（事務局より）</p> <p>【検討の視点】：御提案の検討の視点については、第6回検討委員会資料2のとおり、候補地の評価項目とさせていただいております。</p> <p>【視点の評価】：候補地の評価方法については、第5回検討委員会で御検討いただきましたとおり、まずは会長、副会長等が評価した評価表（資料2）を叩き台として、御検討いただきたいと思います。</p>
2	<p>【会議の公平性・公正に関する件】</p> <p>前回の会議で、候補地が「3ヶ所に絞られた」との報道があったが、このことについて同意したつもりはない。</p> <p>このような重要な案件に対して、なぜ、挙手や投票などに基づく決定をしなかったのかを問う。また、新山口駅周辺を候補地から外す理由を具体的にお示し願いたい。</p> <p>候補地については、会議のたびに議論された意見の多くは、新山口駅周辺と亀山公園の2ヶ所であったと思うが、その一つを強制的に排除することは、会議の公平・公正を失うこととなると思うがどうか。</p> <p>候補地を答申書に明記する場合には、1ヶ所に絞るのではなく、委員会での委員の意見を尊重した内容の答申をすべきと思う。</p>

2	<p>附帯決議は合併の条件として、10年前に市民合意を得ているものであり、これを覆すには、相応の説明が必要である。</p> <p>さらに、以下の3点について要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新山口駅周辺設置について、検討を続けていただきたい 2. 答申書には、委員会として附帯決議をどのように取り扱ったかを明記すること 3. 委員会の運営に当たっては、一方の意見に偏った進行はしないようお願いする
	<p>(事務局より)</p> <p>第5回検討委員会において、民有地である候補エリアは、取得に時間を要する、所有者の土地活用の計画に妨げになる可能性がある等の理由により、新本庁舎の候補地の検討から除外することについて、会長が委員に諮られた結果、第3回検討委員会でお示した公有地の案により、候補地を検討されることとなったところです。</p> <p>また、答申書の内容等につきましては、検討委員会において御検討をいただきたいと考えております。</p>
3	<p>【候補地について】</p> <p>以下の理由により、亀山公園ふれあい広場を推す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成17年の1市4町合併により、新山口市が誕生した。その5年後に阿東町との合併により山口市の区域は大きく変化した。市庁舎は市民が利用する施設であり、市民の利便性が第一。特に高齢化が一段と進む中では、老人、障害者、子ども、学生など交通弱者に対する公共交通による移動手段を考えた場合、新山口駅周辺では偏った位置にあると思う。 (2) 合併し、2つの都市核をどう位置づけるかというまちづくりの観点から、行政、文化、教育の中核的施設の一つとして山口都市核に置くべきである。 (3) 6階建てが景観を損なうという指摘については、かつてサビエル記念聖堂のある亀山公園を観光スポットとして開発するというアイデアを出された時の話と思うが、亀山公園ふれあい広場の方は、近くに合同庁舎や高層マンションもあり、その指摘はあたらないと考える。 <p>【機能について】</p> <p>総合的に機能を発揮する施設にするべきで、初めから非効率的な機能分割を考えるべきではないと考える。</p>

3 新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について

1. 候補地について、これまでの意見(要約)を項目別に分類し、まとめたもの(ゴシック体の意見は第5回検討委員会での意見。意見書含む)

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
1	利便性	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が使いやすいのが一番 ・市民の利便性を大切に ・地方自治法第4条第2項には、住民の利便性のため、交通や他の官公署との関係を考慮しなければならない、とある 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用するのでアクセスしやすい場所が求められる ・現在の本庁舎へ行くのに30分かかかるが、小郡になると50分となるため、位置は亀山ふれあい広場が良い ・新幹線を利用して市役所に来る人はいない ・新幹線は市庁舎の位置を決める場合、市民に直接影響はない <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新山口駅周辺の利便性は、主に市外から来街者や事業者の視点で見ると便利であるが、市内居住者全体の利便性で考えるべき。市庁舎を造るので、別の市を考えるより、まず、山口市民にいかに便利なのか、使いやすいかを考えて議論する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外から山口県庁や山口市役所に来る人は必ず新山口駅で乗降する ・交通の便は大きなウェイトを占める ・萩から山口に県庁が移転したのも交通の要衝であったから ・新山口駅周辺は、交通の便もよく、人口も増加し、市の玄関口として開発できる土地があるため、庁舎の位置として適当である
		自動車によるアクセスが便利か			

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
1	利便性	来庁者用駐車場が確保されているか	<ul style="list-style-type: none"> 外に出ている組織を1か所に集める場合、必要な駐車場が本当に機能できるのか 		
		人口が集積しているか【(人口重心、人口集中地区など(将来含む))】	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの拠点とする考え方で、人口集積率も頭に入れながら検討していく必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 人口構成を考慮すべき 人口集中地区を考慮すべき(総人口は大幅に移動しないのでは) 人口重心を考えるべき 約60%(約12万人)の人口が山口側にあり、亀山公園ふれあい広場がよい <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方自治法からも行政サービスの公平性が原則。人口重心は、庁舎の議論の際、どの市町村でも検討する重要な指標。平成22年の国勢調査を基に算出すると、山口市の人口重心は吉田キャンパス付近。庁舎までの移動人口×移動距離の総和を出すと、本庁舎が新山口駅にあるほうが、多くの人々が長い距離を移動し、時間とコストがかかる。このことを許容するののかも議論する必要がある 	

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見	
1	利便性	市民	人口が集積しているか【(人口重心、人口集中地区など(将来含む))】		<ul style="list-style-type: none"> ・山口市各地からの距離があまり偏らない、ほぼ中心地が望ましい ・小郡～阿東間は50kmとなり、高齢化が進む中、行き来が難しい ・北部、南部から見ても中間的な位置にあり、利用しやすい ・多くの人が集まる湯田温泉もあり、本庁舎があったほうが便利 ・湯田スマートICの計画もある 	
		行政	他の官公署や関係機関との連携が容易か		<ul style="list-style-type: none"> ・本庁の選定に当たっては、国や県の施設との関係も重要である ・白石地域は公共機関や、行政機関が集中し、各行政機関の集中度が高い地域が望まれる ・山口都市核は、行政関係のインフラが整備され、こうした地域特性の活用により、行政効率の向上を図ることが重要 ・県や国の建物も多く利便性もあり、現在地が良いのではないか ・県庁、警察等の建物が集中しており、利便性が高い 	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
2	防災・安全性	<p>自然災害（地震、台風、豪雨等）に対する安全性が十分か</p>	<p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般論として、建ててほしくないところとして、地すべり地域と土石流地域がある。川の近辺でかなり浸水するところも避けなければいけない ・市庁舎だけを丈夫にしても防災対策にならない。地盤が安定したところを探すのが良い ・災害に強い庁舎の場所選定が大事 ・南海トラフの巨大地震が30年以内の確立が70%であり、県の想定でいくと、候補エリア⑥は津波の影響を受ける。亀山公園までの影響は考えられない。津波が来ている間は市役所の職員は籠城し、災害対応はできないという、覚悟をもって選ぶ必要がある <p>山口地域を適地とする意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所は安全でないといけない ・ハザードマップ等で災害の少ない場所、国や県等の施設との利便性、市民会館等を考えると現在地が望ましい ・津波、高潮の心配もなく、土砂災害の危険も少なく安全が確保できているのではと思う ・ハザードマップを見ると、小郡地域は無理そうかなと感じる <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップについて、浸水想定されていても必ずそこが駄目とは言えないが、新しく建設するのに、あえてそこを選ぶ必要もない。国が一級河川について1000年に一度の浸水被害を想定したハザードマップを作成し、浸水深が20mになるところもでてきた。今後、県が県河川（榎野川）も想定を上げれば、想定の上水深は今よりもさらに深くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの候補地も安全ではなく、何らかの対策をしなければ防災の観点はクリアできないのかなと考えている

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見	
2	防災・安全性	自然災害（地震、台風、豪雨等）に対する安全性が十分か		建ててはいけないと言っているわけではなく、建てるにはそれなりのお金と職員の動きを、覚悟を持って山口市民みなさんが受け入れる必要があると思う	
		災害時に、避難所や防災拠点として機能できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害対応をどこがとりやすいか。県庁との連携もあるし、県警との連携もある。自衛隊との連携も必要 【専門委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・浸水は一旦浸水すると市役所が孤立するので職員を派遣することは当分できない。情報収集や情報発信のために職員が移動もしくは参集することすらできない。一方地震は、一旦揺れが収まれば、周囲の状況に注意しながら参集や職員を地域に派遣して動くことができる ・物資や自衛隊拠点など災害時に多目的に使用可能な敷地が近くにあることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策として機能することができる場所が求められる 【専門委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・地震は避けようがないが、免震構造にすれば大丈夫。ただし、小郡の沖積層に建てるのであれば、時間とコストをかけて地盤強化が必要。浸水したことがある地域は、将来、より深い浸水が起こる可能性が高い。どうしても浸水する可能性のある地域に建てるのであれば、1階はほぼ機能のない庁舎を建てることになり、建物規模も大きくなる。 	

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
2	防災性・安全性	災害時に、避難所や防災拠点として機能できるか		現在の位置であれば、県庁・自衛隊などが近いため、災害時の対応が早いと思われる。私自身、どこが良いということは、この場では申し上げるつもりはなく、あくまで、自然の環境と災害対応、そういった面での意見を言わせていただいた。	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	<p>総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の位置にするのであれば、他の計画はそのまま進めていけばいいが、小郡に移したときに、並列して走っている計画はどうなるのかも含めて議論をしないといけない ・現在地にするか、新山口駅周辺にするのか、メリット、デメリットの検討や、位置を移す場合は相当理由をしっかりとしないといけない ・全市民の安心・安全、利便性を捉え、市民目線のまちづくりの視点で考えるべき ・山口都市核、小郡都市核を中心に計画が進められ、新山口駅周辺の開発も進められているが、山口市がどう変わっていくかを予測するのは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した市民会館を解体し、庁舎を建設し、小郡に文化会館的なものを建設し、小郡をにぎやかにする。 ・来庁者は、車、自転車、徒歩が殆どで、新幹線を利用する市民はいない。災害発生時に災害対策本部として機能することが必須であり、地滑りや浸水しても交通が遮断されない道路網が整備されていることが重要。以上のことから現市民会館と併合した複合ビルを提案する。 ・各地域の特性を考える必要がある ・大内文化が栄えた文化の里であることを山口の中央に植えつきたい ・教育・文化・歴史のまちづくりという点では旧山口が最適であり、平地になっている亀山公園が最適ではないだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇部市との連携中枢都市構想により県央部の魅力ある地域づくりが達成できると期待しており、建築場所は宇部市との距離も勘案し、新山口駅周辺がよいのでは ・連携中枢都市を宇部市と交通の要衝として進めている ・将来の発展を考えた時、現在地よりも新山口周辺の方が期待が大きい ・宇部市との都市連携を進めていくとき、どこが中心になるかを考えれば、自ずと結論がでるのでは ・山口県、山口市の玄関口としての将来構想、宇部市、美祢市、防府市との玄関、こういったものを含めて、山口県をリードできるような山口市構想を考えてほしい ・広域経済交流圏の中心として山陽の広域経済圏に対抗し、その中心が山口市でありたいときいている

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・小郡都市核は、今ある交通インフラを活用した振興策を重点的に進める方が、今後の地域振興になるのではないだろうか ・小郡は産業交流、交通をいかして発展すべき ・10年前と今では状況が違っており、状況が変われば柔軟に考えるべき ・北部から本庁機能がなくなると、総合計画などへの影響が大きいのではないか ・人口が減少する中、バランスのとれた発展が大事 ・5段階に分けて点数化し候補地を評価した結果、現在地が最適となった ・他の候補地が現在地に優る大きな理由が見当たらない。 ・亀山ふれあい広場が最適 ・行政、歴史、文化の中心である ・わざわざ遠くに行く理由がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市、山口県の玄関として整備すべきでないかと思い、位置は新山口駅周辺がいい ・20年、30年先のビジョンを踏まえ検討すべき ・30年後を見据え、山口市の心意気を示してもらいたい ・山口のシンボルとして南部の方で考えてもらいたい ・将来性を考え、将来の街づくりに大きな経済効果を生まれるのではないか ・附帯決議を前提に考えるべき ・新山口駅周辺は広域圏域の拠点、連携中枢都市圏域の形成、将来的には、県民会館、文化会館、県の物産館、高等教育の場、多種多様の医療の施設が集積できる可能性があり、庁舎の位置として適当である。

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画にも山口都市核と小郡都市核について明記されており、それぞれの役割や将来像ができています ・ 小郡地域には羨ましい限りの税金が投入されている ・ 小郡地域を市民、県民の玄関口として発展させることは必要であり、バス路線や道路網を整備し、利便性を高めることは必要 ・ 現地か亀山ふれあい広場が最適 ・ 交通の便という話が出ているが、600年前の大内氏時代から毛利氏の明治維新までの歴史的な側面でも検討すべき ・ 新たなところに造ればその機能が充実するまでに100年くらいかかるのではないかと 	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 候補地の中に農用地指定されている農地が選定されている。原則農地転用不可であるが、敢えて農地を潰して宅地化する、もしくはスプロールを助長させることは、土地利用の観点から少し問題があるのではないかと思う。 <p>まちづくり方針は行政計画として市民の合意を得た将来計画。これに基づかないことは、合意したものを破棄し、もう一回合意させないといけない。</p> <p>山口都市核は現本庁舎を中心に行政、商業、観光、歴史、文化、居住などがコンパクトに集まっている。都市再生特別措置法でコンパクトなまちづくりを地方レベルでも推進していくことが言われている。山口都市核のコンパクトな生活圏をリスペクトしてモデル的に考えていくことも案としてあるのではないかと思う。</p>	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<p>現本庁舎は、市民合意を得た大内文化まちづくり推進計画と中心市街地活性化基本計画の中間にある。その庁舎がなくなると、2つの計画がどうなるかということは、影響が大きい。</p> <p>山口都市核のコンパクトな都市構造というポテンシャルをあえて壊す必要はないと思う。コンパクトな都市構造をそのまま住民レベルの活動で歴史、文化などを生かしながらまちを再生していくことに庁舎の位置づけはなくてはならないと思う。</p> <p>小郡都市核はたくさんの計画があり、足し算の計画である。そこに山口都市核から引き算となってしまう難しい。</p> <p>宇部、防府も庁舎を造ろうとしているが、その中に広域連携の話は知る限り出てこない。</p>	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<p>山口市の庁舎を計画する時、広域まで巻き込んで庁舎を造るというロジックは分かりにくい。山口市民が分かりやすい、使いやすい庁舎を考えていくべきではないかと思う。</p> <p>そういった点で客観的なアプローチをすると、熟度が増のではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿東町との合併等を経た現在の山口市の市域、人口分布、都市基盤の積み重ね、防災意識の高まり、現在のまちづくり計画などを踏まえると、新市における本庁舎の位置は、現在の本庁舎もしくは亀山公園ふれあい広場周辺での整備が望ましい ・山口都市核づくり、小郡都市核づくりで考えると、亀山のほうが市政の発展だけでなく、洪水、土砂の面からも良いと思う 	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでのまちづくりの継続性や、県や国などの行政機関が集約されているので、亀山公園ふれあい広場が適地ではないか ・ 附帯決議があるが、南部地域でも意見はまとまっていない 	
		周辺環境や景観に配慮されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所は山口が適当だと思うが、現地建替え(①-1)の場合、6階建てでは景観が損なわれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山で高層建物は景観をこわすのでは

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
4	経済性・実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費の問題については、将来的な負担額がかなり圧縮されているので、初期投資を少し増加させたとしても、費用対効果としては十分いけるのではないか ・財政負担が大きく、将来の市財政を圧迫する ・人口減少に伴って職員数、延床面積を減らすべき ・今の市役所を解体し、仮庁舎を作ると、仮庁舎の無駄が出る 		
	法手続きや民有地取得等により時間や経費を要することがないか	<p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申から決定、計画と、ただでさえ時間を要するのに、民有地を求めるとなるとさらに時間を要するため、公有地で検討すべき ・庁舎を分割して建てると、コストが当然増えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地はかなり日数がかかる ・候補地として6案あるが、民有地をこれから取得する問題、用途地域や進捗中の事業の関係などから考えると、亀山ふれあい広場が最適。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地（市庁舎、駐車場）が広く、安く確保しやすい

2. 行政機能等、防災・安全性、候補地の検討や意見集約の方法などに関する意見

- 【行政機能等】 県庁所在都市の本庁舎であることや市域が広くなり 1000km²を超える大きな自治体となった。そういう山口市の本庁舎と総合支所、地域交流センターをネットワーク化する中で、防災、情報といったところの本庁舎が、かなめになる
- 【行政機能等】 市役所本庁舎は都市機能の拠点となる。さらに市民活動の拠点になりうる。周辺市街地、非常にいい影響を与えるので、例えば市街地の再生を図っていかうとするケースであるのか、それとも衰退した地域を何と盛り上げようとするケースなのか、そういう諸問題があったとすれば、建替えによって大きく影響があるということで、良い方向に向かわせることができるのではないか
- 【行政機能等】 従来の機能に加え市民の文化活動のために開放されたスペースと地域の文化や教育を発信する機能が必要
- 【行政機能等】 本庁舎整備を機に本庁と総合支所の役割・分担を明確にし、住民自治の拠点となる総合支所の強化を検討すべき
- 【行政機能等】 機能については、本庁舎の機能と、総合支所を完全に切り離すべき
- 【行政機能等】 教育委員会など分散している組織について集約した方がいいのか、今までどおり集約しないのか、それについて総合支所機能は崩さない前提で議論しとりまとめないといけない
- 【行政機能等】 障がいの有無や外国語住民、働く男女、高齢者等多様化するライフスタイルに対応した環境づくりが必要
- 【行政機能等】 市民の利便性を考えると、5時閉庁や土日が休みの本庁舎ではこれからの働き方に対応が難しいのでは
- 【行政機能等】 市民サービスの電子化、オンライン化、総合支所とのネットワーク化など、新しい形のサービスが提供できる情報インフラ整備や機能化の視点が必要
- 【行政機能等】 障がい者やお年寄りに対する配慮、特に災害時については支援機能が必要ではないだろうか
- 【行政機能等】 総床面積削減→市職員の削減を答申に盛り込むべきである
- 【行政機能等】 市民が利用しやすい機能を有し、災害に強い安全な庁舎整備を要望する
- 【行政機能等】 サビエル記念聖堂を含む亀山公園周辺の景観に配慮した建物配置と周辺整備が望ましい
- 【行政機能等】 広い道路に面し、十分な面積のある利用しやすい駐車場が好ましい
- 【行政機能等】 位置の検討に引きずられて、機能などの面が深く話し合われていない
- 【行政機能等】 大殿・湯田・白石は人口3万人だが出張所機能がない
- 【行政機能等】 総合支所や交流センターの機能強化が必要
- 【行政機能等】 将来的なことを考えると、現在検討している規模で良いのか。(少子化が進み、スペースが余るのでは)

【行政機能等】総合支所（小郡、秋穂、阿知須等）をまとめてコンパクトにしても良いのでは

【行政機能等】総合支所や地域交流センターの機能がしっかりしていれば、本庁舎はどこにあっても問題はない

【行政機能等】本庁舎はコンパクトでよい。総合支所機能を強化するため、山口地域に新たに総合支所を整備することも必要

【防災・安全性】地震に関しては、小郡も山口も断層帯であり、震度6強は免れないと思う。ただ免震を入れることで、かなり力を減制することができる

【防災・安全性】市民の安心安全というのが大変重要視されており、防災拠点としての機能を備えた施設であるべき

【候補地の検討や意見集約の方法】検討委員会は市庁舎を設置するにはどのような条件を満たさないといけないのかを調査、検討し、住民の意見を反映させることが目的である

【候補地の検討や意見集約の方法】合併時の附帯決議を決定した時と、阿東町との合併により山口市の規模も、社会情勢も大きく変化しており、現在の山口市の規模、社会情勢、自然災害等の実態に基づき検討することが必要

【候補地の検討や意見集約の方法】異なる意見があるので、場所をどこにするか、委員全員の無記名による投票を行うとともに、異なる意見を併記し、答申する。

【候補地の検討や意見集約の方法】すべての委員が意見を出し合う必要があるため、少人数のグループを組んで協議する時間を設け、それを取りまとめて答申としてはどうか

【候補地の検討や意見集約の方法】適地であるかどうか検討する指標項目に「将来性」を追加してほしい

【候補地の検討や意見集約の方法】一部の人の意見で決定せず、点数やアンケートですべての委員から意見をもらうべき

【候補地の検討や意見集約の方法】これまでの議論は、地域エゴ、我田引水の印象を受ける

【候補地の検討や意見集約の方法】一部の人の意向に偏らない、全市民に恩恵が及ぶように議論を進めてほしい

【候補地の検討や意見集約の方法】将来を考える要素として、年齢別の人口推移を示してほしい

（専門委員の意見）

【候補地の検討や意見集約の方法】適地の基準が示されたので、客観的にどの候補地が適地であるか評価を行う必要がある

【候補地の検討や意見集約の方法】附帯決議も大事とは思いますが、最終的には市民の意見で決定すべき

【候補地の検討や意見集約の方法】候補地、候補エリアが6案と多く、抽象的な話しかできていないため、2~3箇所に案を絞るべき

3. 新本庁舎候補地の評価項目

評価項目			
1	利便性	市民	公共交通機関の利用によるアクセスが便利か（最寄駅、最寄バス停からの距離）
			自動車によるアクセスが便利か
			来庁者駐車場が十分に確保されるか
			人口が集積しているか【人口重心、人口集中地区など（将来含む）】
			総合支所を含めた行政サービスが充実できるか
		行政	他の官公署や関係機関との連携が容易か
			職員用駐車場が十分に確保されるか
2	防災・安全性	自然災害（地震、台風、豪雨等）に対する安全性が十分か	
		災害時に、避難所や防災拠点として機能できるか	
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	
		周辺環境や景観に配慮されているか	
4	経済性・実現性	事業費（財政負担）	
		法手続きや民有地取得等により時間や経費を要することがないか	
5	将来性・発展性	市外、県外の人をたくさん呼び込むことができるか	
		企業を誘致し、移住を促進するための条件はそろっているか（交通の便、広い土地、生活環境）	

■地方自治法 第4条第2項

2 前項の事務所の位置を定め又はこれを変更するに当つては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。

4 第7回検討委員会日程について

日 時：平成29年1月20日（金）午後2時～午後4時（2時間程度）

場 所：セントコア山口（山口市湯田温泉3丁目2番7号）